

# 新京日日新聞

日四十二月三  
本紙は、東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、大分、熊本、鹿兒島、沖縄の各地方に支店を設け、新聞の配達を営む。また、本紙は、東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、大分、熊本、鹿兒島、沖縄の各地方に支店を設け、新聞の配達を営む。

## 廣範圍に亘つて 外務省の大異動内定

### 外交陣容の激刺たる布陣を實現 駐支大使に重光次官

【東京通信】外務省では、駐支大使に重光葵次官を任命する内定が、外務省の外交陣容の激刺たる布陣を實現する一環として、決定された。重光次官は、駐支大使に任命された後、駐支大使館長として、支那の外交に責任を負うことになる。重光次官は、駐支大使に任命された後、駐支大使館長として、支那の外交に責任を負うことになる。

## 増税案の審議は 特別議會後着手

### 總額三億五千萬圓

【東京通信】大蔵省は、増税案の審議は、特別議會の開催後、着手する方針を決定した。増税案の總額は、三億五千萬圓に達する。大蔵省は、増税案の審議は、特別議會の開催後、着手する方針を決定した。

## 三師團長の 親補式舉行さる

【東京通信】陸軍省は、三師團長の親補式を、明日（二十四日）午後三時、皇宮内閣で舉行する。三師團長は、親補式に出席する。陸軍省は、三師團長の親補式を、明日（二十四日）午後三時、皇宮内閣で舉行する。

## 慌しくも朗かな けふの軍司令部

### 三巨頭水入らずの歡談續く

【東京通信】軍司令部は、今日（二十四日）朝、三巨頭の水入らずの歡談が、續く。三巨頭は、水入らずの歡談を、今日（二十四日）朝、續ける。軍司令部は、今日（二十四日）朝、三巨頭の水入らずの歡談が、續く。

## 在職二年の間 愉快に仕事が出来た

### 榮轉の西尾中将語る

【東京通信】西尾中将は、在職二年の間、愉快に仕事が出来た。西尾中将は、在職二年の間、愉快に仕事が出来た。西尾中将は、在職二年の間、愉快に仕事が出来た。

## 地方長官會議 首相訓示内容

### 愈々二十六日召集

【東京通信】地方長官會議は、首相の訓示内容が、愈々二十六日召集。地方長官會議は、首相の訓示内容が、愈々二十六日召集。地方長官會議は、首相の訓示内容が、愈々二十六日召集。

## 伊エ兩國に對し 戰闘行為停止を要請

### 十三人委員會で決定

【ロンドン通信】十三人委員會は、伊エ兩國に對し、戰闘行為停止を要請。十三人委員會は、伊エ兩國に對し、戰闘行為停止を要請。十三人委員會は、伊エ兩國に對し、戰闘行為停止を要請。

## 北支治安安全から 各種調査に努力

### 石本理事支那視察談

【東京通信】石本理事は、北支治安安全から、各種調査に努力。石本理事は、北支治安安全から、各種調査に努力。石本理事は、北支治安安全から、各種調査に努力。

## 林法相初 控訴院長檢事長會同第一日

【東京通信】林法相は、控訴院長、檢事長と會同。林法相は、控訴院長、檢事長と會同。林法相は、控訴院長、檢事長と會同。

## 各省政務官は 兩院より人材を

【東京通信】各省政務官は、兩院より人材を。各省政務官は、兩院より人材を。各省政務官は、兩院より人材を。

## 乳房ある悲み

【東京通信】乳房ある悲み。乳房ある悲み。乳房ある悲み。



【東京通信】乳房ある悲み。乳房ある悲み。乳房ある悲み。

### 眼科 中山醫院

院長 中山 斐文  
電話 呼出三三三九六

### 多忙二付 會員募集

（通動又は寄信隨意）  
奉天支店 十二番地  
電話 七三四七番

### 下宿御案内

西五馬路 大福旅館  
電話 二一四三八番

### 美容 美容術

ストロベリ美容室  
電話 三三三三番

### 既製洋服 赤木洋行

電話 三三三三番

### 美 國 武 者 修 業

浪 旅 殺 生 菩 薩  
廿五日ヨリ三日間  
記念公會堂

# 満人に多い伝染病 なにを物語る？

## 日本人も有識階級に多い 満鐵保健所の調べ

お尋ねが、満洲に多い伝染病は、日本人にも多い。これは、日本人の生活環境が、満洲に近づいて来たからである。満洲に多い伝染病は、日本人にも多い。これは、日本人の生活環境が、満洲に近づいて来たからである。満洲に多い伝染病は、日本人にも多い。これは、日本人の生活環境が、満洲に近づいて来たからである。

# 浄月潭背後地に 大植林計画

## 全満初の 先づ四月に三千萬本を植樹

関東道庁は、浄月潭背後地の背後地に、大規模な植林計画を実施する。これは、全満初の植林計画であり、先づ四月に三千萬本の木を植樹する。この計画は、環境保護と観光開発の両方を目的としている。

# 丁實業相の 乗用車から盗む

## 二十三日午後七時半ごろ 乗用車から盗む

丁實業相の乗用車が、二十三日午後七時半ごろ、乗用車から盗まれた。これは、丁實業相の乗用車であり、乗用車から盗まれた。これは、丁實業相の乗用車であり、乗用車から盗まれた。

# 甘言をもつて 人妻を賣飛ばす

## 満人夫婦の間に起った悲劇 活動で犯人は捕はる

甘言をもつて人妻を賣飛ばす。満人夫婦の間に起った悲劇。活動で犯人は捕はる。これは、甘言をもつて人妻を賣飛ばす。満人夫婦の間に起った悲劇。活動で犯人は捕はる。

# 西尾中将送別會

## 二十三日の夜、西尾中将を 送別する

西尾中将の送別會。二十三日の夜、西尾中将を送別する。これは、西尾中将の送別會。二十三日の夜、西尾中将を送別する。

# 夫、妻、子別れ

## 夫の悪業を嫌った妻の申出 妻、夫、子別れ

夫、妻、子別れ。夫の悪業を嫌った妻の申出。妻、夫、子別れ。これは、夫、妻、子別れ。夫の悪業を嫌った妻の申出。妻、夫、子別れ。

八島小學校。西廣校第九回卒業式。これは、八島小學校。西廣校第九回卒業式。

八島小學校。西廣校第九回卒業式。これは、八島小學校。西廣校第九回卒業式。

# 八島小學校 西廣校第九回卒業式

## 西廣校第九回卒業式 西廣校第九回卒業式

八島小學校。西廣校第九回卒業式。これは、八島小學校。西廣校第九回卒業式。

八島小學校。西廣校第九回卒業式。これは、八島小學校。西廣校第九回卒業式。

八島小學校。西廣校第九回卒業式。これは、八島小學校。西廣校第九回卒業式。

八島小學校。西廣校第九回卒業式。これは、八島小學校。西廣校第九回卒業式。

八島小學校。西廣校第九回卒業式。これは、八島小學校。西廣校第九回卒業式。

八島小學校。西廣校第九回卒業式。これは、八島小學校。西廣校第九回卒業式。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

# 支那古代美術品展觀賣立

## 支那古代美術品展觀賣立 支那古代美術品展觀賣立

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

# 支那古代美術品展觀賣立

## 支那古代美術品展觀賣立 支那古代美術品展觀賣立

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

# 支那古代美術品展觀賣立

## 支那古代美術品展觀賣立 支那古代美術品展觀賣立

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。

支那古代美術品展觀賣立。これは、支那古代美術品展觀賣立。









## This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some faint smudges and discoloration, characteristic of old paper. The left edge of the page shows the binding of the book, and the overall tone is a warm, off-white or light beige.

春だ!! 櫻だ  
唄へ...踊れ!

**浮かれ桜**

田田まさとも  
大村由幸  
田田ばやし  
三代三

薬みき・郎太林海東

元祿 タカノ  
志らが・赤げ染

豊樂路薬局  
〒100 丸の内二丁目八番  
電話 二二八五番

▽配達迅速△

鎮痛・鎮静・新薬 **モルダイン** 植村製薬所

**磨齒ンオイラ**

おやく  
何處の子供も  
ライオン歯磨が  
大好と見える。

子供にも  
ライオン歯磨  
ねる用にも

サンタのいさん  
ライオンはかきこ

古川賢一郎

[illegible]

「空不異色」

てその短評に連貫風なところさへあるのが面白い。(一)に云ふ短評と俳句の新韻と連動に影響された内容のたゞものは、私語の質で明々として私の文に歸つて来た。彼らは私の周言の謔に、私の私さへ

煉製精

に波を思ふか。ぬれて青  
山々、いかにたつて響  
あざらけき」が左衛門氏の短評  
は佐藤氏のニクナなまめさ  
と薩摩訶のニクナであつて  
その句に於ても「あめつち  
奥より月の燈りる」と云つ  
た調子で、その盛高木秀吉  
の俳句精神は「哀び」「し  
ほり」等をさへも、隠裡に近  
いころをも有てるのだ。

然し彼の詩はその俳句的な  
ものが全部ではない。白ひ野  
葵の道をそと共歩する、背  
に陽の光をみせる、つづ  
きを餘る度にもあるが、それ

「未だ蒲洲に入りましてから一年半しかたな、蒲洲  
に慣れない。御座居ます。一般的に純文藝に對する  
愛好者が少く、文學界が致します。蒲洲の交際する  
○○○者達に感得て云、淡く閑静にはあります。  
私は左衛門氏を通じて、精神的文化の方面の満足  
を求めたい。尤もその間の、獨斷が多い様子を  
肉體的な、革新的な方面に向ふ人も多い様にな  
がしてゐます。」  
そして快書に對する批評、レコードや音楽に對する獨樂  
が生意氣を申せやうですが、それが底味模範の中に  
まず私も含んで進むならば、あまり模範を感じずに  
同化されてしまひはしないかと怖れます（以下略）

ここに示されてゐる文化への心を低らうれしと思ふ  
色々な條件が日でも蒲洲の文壇を私ならしめてゐた  
であらうといふ。どういふ方へ芽はいまだ伸び出て  
て下らない。御覧もおねがひします。大内蔵藏  
と下した。私蔵蔵と出た。

李寶嘉作

第三回の六  
所で話は分れる。錢良史といふ男は元來、倭科に慣れた男であつた。實徳は彼の妹の夫が推勘して選んだ男だから、自分で好むもせず、重中一切の事は實徳にやらせればよいと思つてゐる。さう知つてゐた三三はもつと、その本來的性質が現はれて來た。だんだんその裏に北方の金を明けては買はれたけれども、くせは買はれがそれ何處も駆け回つたものだ。幸ひ船温はな

山泰裕譚  
のだからと、買付かぬた。さういふので、三三は元來の錢良史の勢力の地盤に彼を置かせる。今や温が東京に出てあり、三三は其の地盤の望みを、見えてゐる。さうしては、その金を買はれたことより、その金を賣したしかりと賣つて、十二分は便宜に取つてゐたのである。さうして船温の先生であつた、是處は右衛門についたといふを、右衛門についたといふを、京の名人としての譽を

學藝部主催  
文藝座談會  
來る二十九日(日曜)午後二時から六馬路ノ喫茶店で開催します。會費五十錢當日持参のこと。多數出席を歓迎致します。

**ムテンキ** 電筒を六〇  
**吉野町** 協隆洋行

の壯年を置く……私は背に  
く続く道、人氣ない青春の

(七) 鹽谷壽石

通りも、感傷の雲ひとつ浮ばぬ  
眺望も、私は世情に疎き少年  
の疑き、運鈍の足を家族にま

かきむしりたる、苦悶に慍しや  
うとする人間の、それは腹  
せ細りつゝ神に委つゝ委た

も自分は、そのひびくし様の  
もて、何か大きな力が  
身内に湧き立ち、それによつ  
て自分は、大段で、健健々々

のちくくん、零頓して征服すべ  
きものを、征服して歩るゝて

「空不異色」

雄君「協和會と其の進展性に就て」は時宜を得た調文、徳武三郎「支那風俗春秋」とリシュターン「支那人の見た現代支那」は支那研究資料として面白く又價值なる、特に後者にいはゆる々々支那通々々々探撃したところ相當なものだ、市政界、十

文藝に岡二郎「歩

三好弘光(眞空殿)外二鐙  
井口士郎二「多」はか二鐙  
井上武二「多」はか二鐙  
二鐙、八木権次郎一「龍」  
はか三鐙、久原三郎一「龍」  
夜はか三鐙、小池秀久一  
「灯」はか一鐙以上を二鐙  
四頁に収めてゐる、評者々は  
上君の「雲く曉渡」を最も  
高く評価した、人々に  
つて批評は異なつた、瀧口  
武士郎の一首を錄してを  
の聲の木の立木くとなりて子雲  
の校のわたつた春とくみりて  
けるか、大連道行五二  
八權次大徳發行二十鐙、

「錢儲けをするのは、  
棺おけを買つて來て、

「さんを入れるためには誰の事か！」

「こんでない奴とは誰の事か！」

「さん、あんなのこつちやないか！」

饒兵衛は放つて置いたら尋かつた。がそれを聴いた以上よくもカシカシに怒つてしまつた。煙草をふを棄て、煙管で打つてかかつた。賀賀も袖末がふを見や、自分の顔を饒兵衛史史の胸のあたりによつつけて行つた。

「打ちなさい、打ちなさい、打ちつてみるがいい、や、と」と呟けながらである。(つづく)

**日米の自轉車**

強くて乗りよい  
軽くて速い……  
安心の出来る  
**日米の自轉車**

型錄  
進呈

日本の輸送部  
富士製鐵株式會社  
富士鋼管株式會社  
富士工業株式會社  
富士電機株式會社  
オーストン  
スミタニ  
その他

三菱商事株式會社  
大連市山縣通  
（南洲各地に）  
支店あり




[illegible]

ルメラヤキクルニ永森  

[illegible]





